

2

午 前

## 第 2 回 公認心理師 模擬試験



公認心理師大学院予備校 東京 web

## 問題例

### 午前

問 16 障害の捉え方について、下記の記述の中から、誤っているものを1つ選べ。

- ① WHO から刊行されている ICF の特徴は、障害を健康から切り離さず、健康の否定的側面に位置づけている。
- ② ICF では、障害を機能障害、活動制限、参加制約の 3 つに分け、構造的に把握する点も特徴の 1 つである。
- ③ ICF の特徴は、障害を個人の医学的要因にのみ求めず、個人と環境や社会の相互作用によって引き起こされるという、相互作用モデルを採用している点である。
- ④ WHO が刊行する ICD-10 と ICF を合わせて、国際分類ファミリーと呼んでいる。
- ⑤ WHO が刊行する ICF は、従来の国際障害者分類の ICIDH-Ⅲが改称されたものである。

### 午後

問 112 移植医療や再生医療について、適切なものを 2つ選べ。

- ① 移植医療には、臓器(腎臓、肝臓、心臓)の移植がある。
- ② 移植手術において、提供される方をドナー、提供する方をプロヴァイドとよぶ。
- ③ 改正臓器移植法(2010 施行)では、本人の意思ではなく家族の同意によっても移植可能となった。
- ④ 再生医療で用いる幹細胞は、ES 細胞(胚細胞由来)と iPS 細胞(体細胞由来)がある。
- ⑤ 再生医療では、医療機関に対するマニュアルとして、再生医療等安全性確保法(2014 年施行)が制定された。

## 解説例

### 問 40・・・②

※廃用症候群とは・・・病気や外傷等の治療のため長期間ベッド上で安静にしていた、災害後の避難所等であまり動かない時期が続いていたなど、主に身体機能を使わないことによって筋肉や関節などが委縮・拘縮することである。また、心機能の低下と起立性低血圧、逆流性食道炎、誤嚥性肺炎、血栓による塞栓症、尿路感染症、褥瘡などの身体症状に限らず、精神機能の低下も生じる。

- ①身体症状に限らず、精神的な落ち込み、せん妄、精神機能の低下もみられる。
- ③長期間身体を動かさない場合、関節拘縮の可能性は高まる。
- ④長期間身体を動かさないため、筋肉は1週間に1割以上の速度で委縮していく。
- ⑤生理的老化の状態に加え、長期間の安静等により生じやすいため、高齢者では起こりやすい。

### 問 41・・・・・・・・③

設問文は、1型糖尿病：1型糖尿病は、自己免疫で膵臓のランゲルハンス島のβ細胞の働きが障害されることにより、インスリンが分泌されなくなる。

2型糖尿病は、中高年に発症し、肥満でインスリンが効きにくい状態になり、血糖値が上がる。食事療法、運動療法、経口糖尿病薬を使用する。

### 問 42・・・①

<陽性症状>Schneider, K.の一級症状

- ①思考化声：考えが声になって聞こえてくる。
    - ・思考伝播：考えを話していないのに他者に伝わる。
    - ・思考吹入、思考奪取：考えが外から入ってくる、考えが抜きとられる。
    - ・身体的被影響体験(させられ体験)：自分の行動や感情が他社のコントロール下にある・・・
- etc.

<陰性症状、思考障害>Bleuler, E.の4A

- ・連合弛緩：話の内容がまとまりなく論理のつながりが緩んでいる。
  - ・自閉
  - ・感情鈍麻
  - ・両価性
- ② 自殺念慮：反復性うつ病性障害、うつ病
  - ③ 観念奔逸：躁病
  - ④ 誇大的認知：躁病
  - ⑤ 罪業妄想：大うつ病性障害